

季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第二六一号）

霜降 十月二十三日

撰末社の御遷座

平成二十五年の式年遷宮から四年。今もお撰末社の遷座祭が続いています。この十月には、JR山田上り駅近くの清野井庭神社（外宮撰社）の御遷座が行われました。内宮・外宮そして別宮は二十年に一度の遷宮制度がありますが、撰末社は四十年修造となっており、二十年で屋根などの修繕、四十年で新しく建替えられるのです。清野井庭神社は今回、四十年修造に当たっていました。

御遷座を前にした神域へ参ると、真新しい社殿の屋根には、二本の弓矢が飾られていました。正宮の立柱祭で拝見した弓矢のミニ版です。撰社でもきちんと飾られていることに驚きました。

十月十日に鎮地祭・立柱祭・上棟祭が行われました。参列するのは、地元で神社をお守りする役目の「祝」と清掃担当者。神宮から離れた撰末社では、地域の方々が日々のご奉仕をされているのです。新しい社殿で、まず土地の神に祈る鎮地祭が、続いて宮大工が柱の木口を木槌で打つ立柱祭、そして、棟上げ式にあたる上棟祭が行われました。久しぶりに宮大工の掛け声「千歳棟、万歳棟」を聞きました。

翌十一日は、洗清から後鎮祭を経て、御遷座が執り行われ、十二日の大御饌と奉幣で御遷座は終了しました。

ご近所の方が神域の入口あたりで祭典を見守っていて、伊勢神宮の撰社でありながら、地域に溶け込んだ神社であることがうかがえました。

そろそろ清野井庭神社のイチョウが色づく頃でしょうか。三六五日欠かさず清掃をする方が、落葉の季節が最も大変と話していました。こうした地域に支えられながら神宮百二十五社はあるのだとしみじみ感じた撰社の御遷座でした。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 第15回神恩感謝日本太鼓祭

全国各地の郷土色豊かな太鼓が伊勢に集い、日々太鼓が叩ける喜びと感謝の思いを太鼓の音に乗せ、神様に奉納します。

と き／10月28日(土) 10:00～17:30、29日(日) 9:30～17:30

ところ／伊勢内宮前おかげ横丁一帯 (雨天一部内容変更あり)

入 場／無料

出演団体: 太鼓芸能集団 鼓童(新潟県)、豊の国ゆいん源流太鼓(大分県)、焔太鼓ユニット(石川県)、御陣乗太鼓保存会(石川県)、三宅島芸能同志会(東京都)、八丈太鼓の会(東京都)、飯坂八幡神社祭り太鼓保存会(福島県)、御諏訪太鼓(長野県)、備中温羅太鼓(岡山県)、山部泰嗣(岡山県)、舞太鼓あすか組(奈良県)、和太鼓集団 志多ら(愛知県)、熊野鬼城太鼓(三重県)、南島豊漁太鼓(三重県)、四日市諏訪太鼓龍雅(三重県)、和太鼓グループ 響座いなせ組(三重県)、神恩太鼓(三重県)
全17団体、約130名

● 奉納太鼓演奏

と き／10月28日(土) 10:00～17:30、29日(日) 9:30～17:30
(会場により異なる)

ところ／おかげ横丁「太鼓櫓」、五十鈴川河川敷特設舞台、五十鈴川野遊びどころ中庭会場 他

● ミニ太鼓作り (協力: (株) 浅野太鼓楽器店)

ケヤキの胴に革を張る、本格派の太鼓を作ってください。

と き／10月28日(土)、29日(日) 12:30～14:00 (約90分)

※当日10:00より受付

ところ／横丁棋院

参加費／有料 (両日とも1日先着20名 ※一家族につき2つまで。中学生以下のお子様の場合、一人につき保護者一名の同伴が必要。)

五十鈴塾

○ 宇治さんぽ

内宮前の宇治は門前町として発展してきました。

2000年の歴史のあるところですから、残されたものも多くあります。そここに名残の石碑や建物、木々などがその存在を訴えています。残念なことに覚えていた人が年々少なくなっています。

今日は生まれも育ちも宇治という山中先生にご自身の体験や古老から聞いたことなどを伺いながら、宇治の歴史の証人をたずねたいと思います。

さて皆さんはどのくらいわかりますか?

と き／10月30日(月) 13:30～15:30

講 師／山中 一孝 (豆腐庵山中代表取締役)

参加料／一般1,300円 会員800円

集合場所／13:30に五十鈴塾

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

かしこじま ゆうば
賢島の夕映え

夕陽がリアス式の入り江を照らす、賢島のたそがれ時。その見事な眺めを、羊羹とそぼろ餡を交互に流して仕上げました。

やま にしき
山の錦

二色の白餡と栗餡で、粒餡入りの茶巾絞りにいたしました。神路山の錦秋をお楽しみください。

はつしも
初霜

そぼろの村雨生地で黒糖餡を包み、蒸し上げました。白い氷餅のあしらいで、初霜に見立てた趣向です。